



2023年6月21日

各 位

会 社 名 テスホールディングス株式会社

代表者名 代表取締役社長 山本 一樹
(コード：5074 東証プライム)

問合せ先 執行役員管理本部長 平倉 正章
(TEL：06-6308-2794)

シンジケートローン契約締結に関するお知らせ

当社は、2023年6月21日開催の取締役会において、株式会社三菱UFJ銀行をアレンジャーとするシンジケートローン契約を締結することを決議しましたので、以下のとおりお知らせいたします。

1. シンジケートローン契約締結の目的

当社グループでは、再生可能エネルギーの主力電源化のための取り組みの一環としてバイオマス発電の所有・運営・売電及びバイオマス燃料の供給に注力しており、合同会社熊本錦グリーンパワー（2.0MW）、株式会社伊万里グリーンパワー（46.0MW）等における発電事業の開発に加え、INTERNATIONAL GREEN ENERGY PTE. LTD.（本社：インドネシア、以下「IGE」といいます。）におけるPKS（※）によるバイオマス燃料販売事業、PT PTEC RESEARCH AND DEVELOPMENT（本社：インドネシア、以下「PTEC」といいます。）における新規バイオマス燃料の開発、プラントの建設、オペレーション&メンテナンス等、バイオマス発電におけるサプライチェーンにおいて幅広くビジネスを展開しております。

当社の連結子会社である株式会社伊万里グリーンパワーにおけるバイオマス発電事業（以下「伊万里プロジェクト」といいます。）の開発にあたって必要な資金の調達方法につき検討を進めた結果、当初計画していた共同スポンサーの招聘を前提としたプロジェクトファイナンスによるのではなく、その一部を新株予約権無償割当て（一部コミットメント型ライツ・オフアリング）により調達すると共に、残額について新たなシンジケートローンに基づく借入金により手当てすることといたしました。なお、一部コミットメント型ライツ・オフアリング及び調達方法の変更に関する詳細につきましては本日発表した「一部コミットメント型ライツ・オフアリング（サステナビリティライツ・オフアリング）に関するお知らせ」を併せてご参照ください。

当社グループでは、伊万里プロジェクトへの投資予定額としては総額32,000百万円を見込んでいるところ、2023年6月21日現在の既支払額11,760百万円及び新株予約権無償割当てによる調達額からの充当額（最大12,582百万円）を除く残額について、新たなシンジケートローンに基づく借入金により手当てする予定であり、当社は、本日開催の取締役会において、株式会社三菱UFJ銀行をアレンジャーとする、総貸付限度額200億円、契約締結予定日2023年6月30日のシンジケートローン契約を締結することを決議しました。

（※）PKS：Palm Kernel Shellの略称で、パーム椰子の種からパーム油を搾油した後に残った椰子殻のことです。

2. シンジケートローン契約の概要

(1) 組成金額	200億円（総貸付限度額）
(2) 貸付形態	シンジケーション方式コミットメントローン
(3) 契約締結日	2023年6月30日（予定）
(4) 実行可能期間	2023年8月31日から2025年6月30日まで
(5) 満期日	2035年6月29日
(6) 金利	基準金利＋スプレッド
(7) 返済方法	3ヶ月毎元金均等返済
(8) 担保の有無	有
(9) アレンジャー	株式会社三菱UFJ銀行
(10) 参加金融機関	株式会社三菱UFJ銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社山陰合同銀行 株式会社山口銀行 株式会社南都銀行 株式会社滋賀銀行 株式会社佐賀銀行 株式会社伊予銀行 株式会社百十四銀行 株式会社関西みらい銀行

3. 業績に与える影響

本件の業績に与える影響につきましては、本日発表した「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で記載の修正後の2023年6月期の連結業績予想数値に織り込み済みであります。

今後において、連結決算への影響が重要なものとなる場合には適時開示する予定です。

以上